

施設長挨拶

「新ユニット開設後」

はなこみち施設長 大澤 栄次



5月から準備を進めていた新棟2ユニットが、8月1日に開設しました。

コロナ禍の影響により、児童たちも5月末まで休校という異常事態の中、予定通り開設できたのは、職員の皆様が一丸となって頑張った賜物です。

既存の4ユニット制から6ユニット制に移行するにあたっては、児童・職員の大幅な移動がありました。これに伴い、各児童のケース担当職員も大幅に入れ替わりました。

年度途中の移動のため、職員・児童が落ち着けるのかどうかという大きな不安もありましたが、ユニットが小規模化されたことにより、各児童も以前より落ち着いているので一安心しました。

今年は、コロナ禍の影響により就職活動も例年になく遅い出足となっています。“はなこみち”にも来春就職・進学を控えた児童が5名おりますが、9月あたりからようやく本格的な就職活動が始まったところで、現在4名の児童が就職活動真っただ中です。

一般家庭では大学等へ進学する高校生が半数以上を占めますが、児童養護施設から社会へ巣立っていく場合、大半の児童は原則高校卒業と同時に自立することを余儀なくされています。

こういった厳しい状況下にある子供たちに対しての細やかな自立支援は勿論のことですが、施設退所後も、できる限りの支援を行っていくことが児童養護施設の重要な役割の一つではないかと思う今日この頃です。

引っ越し作業～新しい生活に向けて～

新ユニットでの生活を始めるにあたって、8月1日(土)と2日(日)に施設全体で引っ越し作業を行いました。

児童は前日までに荷造りや居室の掃除等を済ませ、引っ越し当日に荷物の大移動をしました。児童のなかには直前まで居室の片付けが終わらず、職員の手を借りながら作業を進めた子もいましたが、この2日間でほとんどの作業を終えることができました。

引っ越しを迎えるまで、職員は児童の1日の生活の流れを考慮し、各ユニットのルールや部屋のレイアウト等について話し合いを重ねてきました。また、児童からの意見や要望も可能な限り受け止め、新ユニット体制に反映させていくようにしました。最初は職員・児童ともに施設内での変化に不安を抱くことが多かったようですが、今回の引っ越しを通して一体感が生まれ、これから始まる新生活への期待が大きくふくらんだように感じます。

引っ越し後には、新しい棟・ユニットの職員と児童が一同に集まり、引っ越しのお疲れ様会を兼ねてお茶会や簡単なゲームをしながら、新生活についての意見交換をしました。



8/7 (金) 児童 VS 職員 ソフトボール大会

今年度は、コロナ禍の影響により、例年開催されていた、県内児童福祉施設親善球技大会を始め、様々なイベントの中止を余儀なくされてしまいました。そのような状況の中で、深谷西小学校の校庭をお借りして、はなこみち内でのソフトボール大会を開催しました。

大会当日は天候に恵まれ、無事に開催することが出来ました。職員も児童も気合十分。一回戦目は職員と児童のガチバトルということで、暑い中、両者とも対戦相手と向き合い、一生懸命打ったり走ったり、仲間を応援したりして、全力を出すことが出来ました。

二回戦目は職員と児童の混合試合。チームごとにポジションを決め、それぞれのチームのチームワークを大いに見せてくれました。

職員も児童も怪我もなく、元気にプレーしました。2時間ほどの短い時間でしたが、一人ひとりの真剣さ、頑張りを直に感じ取ることができ、職員・児童ともに満足そうな表情をしていました。



8/14 (金) はなこみち祭り

今年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、地域の方や学校の友達を招くことはできませんでしたが、行事係の担当職員が入念に準備をした結果、無事に開催することができました。

今年度ははなこみち祭りでは例年とは異なり、新たに花火とキャンプファイヤーを行いました。キャンプファイヤーでは火の神様が人気で、児童も盛り上がっていました。花火では、職員も児童も夢中になり、夏の風物詩に触れることができ貴重な体験になったと思います。また、花火に合わせて女子児童が浴衣を着ていたのが印象的でした。

規模としては例年に比べ小さいものとなりましたが、それ以上に短い夏休みを余儀なくされていた児童が笑顔でいっぱいになり、私たち職員も元気をいただくことができました。その笑顔を還元できるよう普段の業務においても精一杯頑張っていきたいと思います。

終わりに、企画から運営まで準備してくださいました行事係の皆様、はなこみち職員を含めご理解頂きました地域の皆様に深く御礼申し上げます。



ユニット通信



そらまめ 保育士 根本 健也

新ユニットへの新生活が始まって2か月が経ちました。そらまめでは、毎日にぎやかに楽しく和気あいあいと生活を送っています。

コロナウイルスの影響で、旅行などの施設行事も中止が決定している中で、「はなこみち祭り」「はなこみちシアター」などが実施され、とても楽しそうに参加していました。

今年度は、退所予定児童が1名、小学校・幼稚園とそれぞれ入学・入園する児童が1名ずつおり、きちんと準備をして迎えたいと思っています。

引き続き新型コロナウイルス感染防止に努め、子どもの利益を一番に考えた支援をしていきたいと思っています。

もろこし 指導員 岩月 友里恵

8月に新しいユニット体制となり、もろこしユニットも心機一転、子どもも職員も新しい顔ぶれとなりました。最初はぎこちない様子で生活していた子どもたちも、引っ越しから2か月を経て、時には喧嘩をしながらもお互いへの思いやりの気持ちをお互いへの思いやりの気持ちを忘れない雰囲気が形成されつつあると感じています。

これから一緒に生活していくもろこしユニットの皆で、時には衝突しながらも、たくさん笑い、たくさん遊び、たくさん楽しい・嬉しい気持ちであふれる素敵なユニットになればいいなと思います。

ぶちとまと 保育士 米澤 亮太

夏休みは皆さんどのように過ごしましたでしょうか？はなこみちでは夏休みの初めにユニットの引っ越しがありました。新しくぼてと、いちごのユニットが開設し、合計6ユニットでの生活が始まりました。

引っ越しが終わってすぐに、児童 vs 職員でのソフトボール大会があり、ぶちとまとからも中高生が参加し、大会を大いに盛り上げてくれました。

いつもより短めの夏休みはあっという間に過ぎ、夏休みの終わる直前の金曜日には毎年恒例のはなこみち祭りがありました。今回のお祭りはなんと第二部まであり、第二部では花火とキャンプファイヤーをしました。みんな楽しく怪我無く終えることが出来ました。

かぶら 保育士 仲田 明日香

引越しから2か月が経ち、子どもたちも新しい生活に慣れてきた様子が見られ始めました。夏休みも明け、病気にも負けず子どもたちは毎日元気に登校しています。コロナウイルスの影響で行事等が中止となっていく中でも、はなこみち内の行事等で絆を深めていくことが出来ました。

生活していく中で様々な問題も出てくるとは思いますが、かぶらの職員・子どもが一丸となってユニットを作り上げていきたいと思っています。

ぼてと 保育士 武笠 竜馬

ユニットの移動から早2か月が経ちました。ぼてとユニットは5年生から上の子が在籍しており、日々落ち着いて生活を送ることができています。

ユニット移動後、すぐに行われたはなこみち祭りでは様々な出店やキャンプファイヤーなどが行われ、コロナウイルスの影響で外出自粛が続く中でのやるせなさやストレスを思いっきり発散できたのではと思います。

学校生活がスタートし、生活がだんだんと元通りになっていく中で子どもたちの生活を支えていけるようリーダーを筆頭にユニット職員一同、精一杯努力していこうと思います。

いちご 保育士 小宮 涼香

ユニット移動をし2か月目となりました。職員体制、児童配置が変わり、正直にいうと期待より不安の方が大きかったです。しかし、現状は子どもたちや他の職員、補佐の方々の協力のおかげで落ち着いて過ごすことが出来ており嬉しく思います。

今年度退所予定の児童もいるので、もうじき忙しくなることが想定されます。落ち着いて退所に向けた下準備を始めて行きたいと思っています。

リーダーを中心に、いちごユニット全児童に「いちごのユニットで良かった」と思ってもらえるようなユニット作りを子どもたちと目指したいです。

行事予定(10月・11月・12月)

10月	11月	12月
1日 A棟会議	2日 保育参観(幼)	1日 体育的行事(小1小2)
8日 B棟会議、教育相談(小)	3日 文化の日	3日 A棟会議
10日 防災訓練(そらまめ)	4日 運営会議	4日 期末テスト(中1中2~8日)
13日 職員会議 就学時健康診断(幼)	5日 A棟会議	8日 職員会議
15日 C棟会議、中間テスト(中)	7日 登山行事(小4以上)	9日 修学旅行(小6)
16日 中間テスト(中)	10日 職員会議	10日 B棟会議
20日 プロジェクト会議	12日 B棟会議	17日 C棟会議
21日 実習生(後期)オリエンテーション	14日 県民の日	24日 2学期終業式(小)
22日 リーダー会議	19日 C棟会議	25日 2学期終業式(中)
25日 七五三(幼)	22日 みかん狩り(小3以下)	26日 クリスマス会
	23日 勤労感謝の日	28日 餅つき大会
	24日 期末テスト(中3~26日)	28~ 大掃除
	25日 体育的行事(小5小6)	30日
	26日 リーダー会議	
	27日 体育的行事(小3小4)	

職員提案

今年度の職員提案では、10人の職員から21件の提案が寄せられました。今回の提案も身近な暮らしの中で、どうしたら子供たちの生活環境をより良いものにできるかを考えた提案や、職員の処遇面での提案など、どれも貴重な提案ばかりでした。今回採用になった提案は、今後各提案の担当者と協議して実現していきます。

ここでは、採用になった提案を一部ご紹介します。また、提案者には制度の規定に沿って報償金が授与されました。

【採用になった提案】

- ・「植物、農作物の育成について」
- ・「ホットスマイル(児童のよい点をユニット間で共有していくこと)について」
- ・「幼児を乗せられる自転車の購入について」
- ・「はなこみち厨房だよりの作成について」等

災害時避難場所を提供!

緊急時は避難所として地域に開放しています。

- ① 防災倉庫
- ② 備蓄食糧(1,000食)
- ③ テント(3張)・寝袋(10人分)
- ④ 地域交流センター解放
(スポーツ少年団・地域ボランティア)
- ⑤ AED・チェーンソー等の機材
- ⑥ 非常用トイレキット(500回分)
- ⑦ 救命胴衣(大人用5個・こども用5個)
- ⑧ 救命用浮き輪
- ⑨ 簡易エアマット(20人分)・簡易寝袋(20人分)
- ⑩ バーベキューセット(8台)



はなこみちでは毎月定期的に消防防災訓練を実施し、万々に備えています。

ボランティアサークル花小路会員募集あなたも活動してみませんか?

児童養護施設はなこみちを支援するボランティアサークルです。遊びや学習、生活支援などを中心に実施しています。お気軽にお電話ください。(048-574-3146)

報恩感謝・善意の寄付

(株) チュチュアンナ様

屋久島東武茶生産組合様

山芳製菓(株)様

深谷東ロータリークラブ様

田中明様

編集後記

紅葉の季節が近づいてきました。今年はコロナ禍の影響で、時の移り変わりが見えにくくなっているような気がします。自然の中で新鮮な空気を吸ったり、星を眺めたりできる心のゆとりを持ちたいですね。

次号は来年1月末の発行を予定しております。来年もよろしくお願いたします。(広報担当)